魅力再発見！レトロ建築めぐり

博物館講座

投稿者：:

Posted on : 2014-9-2 11:30:00

8月31日（日）9：00～12：00晴天の中、富良野市街地に所在する歴史的建造物の見学会を開催しました。参加者は富良野沿線や札幌方面からの15名。

文化会館に集合し、当館学芸員が古い建物の特徴や見方を説明した後、まずは富良野神社へ。昭和11年造営の現社殿と大正９年の旧拝殿を見学しました。

その後、市内でも唯一といってよい純和風建造物の島田邸、㈱北印の馬鈴薯倉庫群（現在は主に玉ねぎ）、市内現存最古の鉄筋コンクリート造寺院・東光寺、元病院で寄せ棟屋根の洋風建築・つるや金物店、明治43年の勝山商店、鉄筋コンクリート造建物を模倣したすずらん・相生通りの商店建物群を見学。

ふらっとで10分ほど休憩をはさみ、昭和20年代のアーチ型屋根が美しい洋風建築・小玉邸、旧河村合名酒造酒蔵で現在は焼き肉レストランとして活用されている炭火焼肉やまどり、大正期の米蔵すがわら、大正期の洋風建築・渡部医院を巡り、文化会館へ戻ってきました。

明治から昭和40年代までの古写真も用いて、市街地の歩みと農村部・富良野固有の産業史を振り返りながら、じっくり２時間３０分をかけてぶらぶら歩いきました。

普段何気なく見ている、当たり前にある建物もまちのあゆみや産業史からひも解くと、建物の持つ価値や存在感が増していくのではないでしょうか。

こうした講座は今後も開催の予定で、本年は12月6日に北海道開拓記念館の小林孝二学芸員（建築史専門）をお招きして、市立富良野図書館で北海道の建築のあゆみに関する講演会を開催します。

また来年は市街地周辺の農村部の建物を見学する予定です。ぜひご参加ください。